

## 児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2021年 2月 6日

事業所名 こどもサポート教室「きりり」沼津金岡校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	<input type="radio"/>			
	②	職員の配置数は適切である	<input type="radio"/>			安定したサービスを提供できるように体制を整えたい。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	<input type="radio"/>			今後、全面バリアフリー化を目指し安全安心な環境を整備したい。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	<input type="radio"/>		清掃を徹底し、衛生面への配慮を強化している。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	<input type="radio"/>			
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	<input type="radio"/>		ご意見 BOX を設置している。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	<input type="radio"/>			
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		<input type="radio"/>		実施に向けて検討中
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	<input type="radio"/>			
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	<input type="radio"/>		子どものあらわれや保護者のニーズに関する情報共有を頻繁に行っている。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	<input type="radio"/>			
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	<input type="radio"/>			

関係機関や保護者との連携	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○			
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		ミーティング時間を確保し、情報の共有に努めている。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		⑭を実施している。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している		○	月曜開校日を利用した集団活動を適宜実践している。	要望に応じていく。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		積極的に情報交流を行うようにしている。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		子どものあらわれ、次時への課題、保護者のニーズ等について記録することで共通理解を深めている。	
	⑳	定期的にもモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○			
	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○			
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				対象者なし
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				対象者なし
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○		他機関との連携を個別支援に生かせるようにしたい。

	⑳	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○		要望に応じていく。
	㉑	(自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○		感染症の影響が落ち着いた後、実施される会議等へ積極的に参加したい。
	㉒	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			
	㉓	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		○	個別相談には積極的に応じるようにしている。	要望に応じていく。
保護者への説明責任等	㉔	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			
	㉕	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○			
	㉖	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			
	㉗	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		要望に応じていく。
	㉘	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○			
	㉙	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		月事の掲示物、配布物等により情報発信を行っている。	LINEを活用し、リアルタイムな情報発信を積極的に進めていく。
	㉚	個人情報の取扱いに十分注意している	○			
	㉛	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	㉜	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		保護者の要望に応じてながら今後検討していく。
	非常時等の対応	㉝	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		
㉞		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			
㉟		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○			

④4	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている				事業所内での飲食はない。
④5	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			
④6	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			
④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○			

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

## 児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2021年 2月 6日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」沼津金岡校

保護者等数（児童数）：10 回収数：10 割合：100%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	10				活動を楽しめる十分な広さがある	
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	10					
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	10				個別空間が確保されているため集中できる	バリアフリー化へ向けて危険箇所の改善に努めたい
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	10				雰囲気がよく過ごしやすい	引き続き環境整備に努めたい
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	10				不安や疑問に対する助言により安心できる	引き続き、保護者との連携を深めていきたい。
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	10				子どもの現状と特性を考慮して計画されている	子どもの実態を正確に捉えると共に、保護者の要望にも応えていけるよう定期的にモニタリングを行い、適宜計画の見直しをしていきたい
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	10					
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	10				子どもの特性をよく理解して工夫されている。 様々な経験ができる	
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	1	3	4		個別に幼稚園や保育園との情報交換を行っている
保護者への説	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	10					
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	10					

明 等	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	4	2	2	2	子どもとのかかわり方について助言をもらえる。	個別の相談に積極的に応じていきたい。参考資料等の貸出を行うなどしている。	
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	10				相談内容が職員間で共有されている。 丁寧に情報共有ができており大変よい	今後も、家庭との連携を充実させていくとともに、保護者の声に耳を傾け対応していきたい	
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	8	2			とても話しやすく安心		
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3	2	1	4			
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	9				1	相談事に対する返答回答に満足している	
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	10					工夫されている	
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	7	1			2	HPのチェックをしていない	今後は、LINEを活用した積極的な情報発信を進めていく
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	10					契約時に説明があった	
非 常 時 等 の 対 応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	9	1				説明があった 掲示物や配布物に訓練に関する情報がある	
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	10					説明があった	
満 足 度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	10						
	㉓	事業所の支援に満足しているか	10						

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。